

食品 サッポロビール株式会社



北海道本部 総務部のお二人

ゼロからのスタートとなる営業拠点にとって エコアクション21は最適なツールでした

商品を安心・安全にお客様へ届けるためには製販一体での環境対策が必要であり、それには全社一丸となってEMSへ取り組まなければ対応できないと考えました。そこで北海道本部がすでにスタートを切っていたエコアクション21に着目し、全社で統合、全国の営業拠点へ展開していくことを決めました。エコアクション21の良いところは、その自由度にあると思います。マネジメントシステムに馴染みのない、ゼロからのスタートとなる営業拠点にとって、型にはまらず柔軟な運用が期待できるエコアクション21は最適なツールでした。「省エネ=省コスト」のシンプルな考え方も、受け入れる社員には理解しやすいものだったはずです。

「できることからやっついこう!」の 気持ちで始めました

生産工場は品質保証のしくみとしてISO9001、環境マネジメントシステムとしてISO14001を取得していました。こうした生産工場での取り組みに対して「営業部門ができることはないのか」、それが北海道本部でエコアクション21を導入したきっかけです。照明などの省エネや紙の使用量を削減、物流も含めた社用車のエコドライブ徹底など、営業部門でも取り組めることはありましたが、取り組みやすいエコアクション21のしくみもあって、気負わずに「できることからやっついこう!」から始めることができたように思います。

広告品の適正発注で廃棄コストと 製造・購入コストを削減

環境活動が営業業務と密接につながった事例に、「広告品作成の適正化による廃棄物の削減」があります。これまで営業担当者の感覚で、しかも地区本部単位で広告品の発注を進めていたため、かなりの余剰品が発生、廃棄物として処理されていました。これを業務レベルで分析、広告品の適正発注を図ることで、廃棄コストと製造・購入コストを削減することに成功、本業の収支に貢献できました。適正化は不法投棄などのリスクを未然に防ぐことにもつながり、同時に営業担当者の「需給予測力」が向上するという副産物も生まれました。各拠点、それぞれの営業担当者にヒアリングを実施して少しずつ改善してきた努力が実ったものと、営業部門として誇らしく感じています。

全拠点一斉の取り組み 全社で取り組む意義は大きいと思います

全拠点一斉の取り組みにおいては、共通テーマの存在も大きいです。全体でのバラツキを是正し、拠点ごとの進捗もわかるようになりました。全国の地区本部が同じ目標に取り組んでいることで、自ずと歩調が揃いますし、成功事例といった情報・知見の共有、水平展開や連携などのメリットもあり、全社で取り組む意義は大きいと思います。広告費の削減はもちろん良い事例ですが、5Sが徹底・定着してきたこと、毎水曜日を「ノー残業デー」として省エネ活動を続けてこられたことなど、日々の業務改善を進められたことも、営業の現場としては大きな成果だと考えています。

お客様や取引先様のみなさまと 環境活動の輪を広げています

一人でも多くの方にサッポロビールのファンと なっていただければうれしい

営業部門として、生産工場にはないユニークな取り組みもあります。そのひとつが、取引先様への働きかけ、コラボレーションです。空き缶を回収する「1缶1円運動」なども、取引先である販売店さんのご理解とご協力をいただき展開している環境活動になります。関係するみなさんを巻き込んでの活動は、周りとのコミュニケーションを大切にしている営業部門ならではの活動の輪が広がり根づいていくことで、一人でも多くの方にサッポロビールのファンとなっていただければうれしいことです。長い目で見ればブランドイメージの向上にもつながる、エコアクション21の効果とも言えるんじゃないでしょうか。

環境活動を通じた改善を 従業員の働き方の改革・改善につなげていきたい

エコアクション21を契機にした、いわゆる「紙」「ゴミ」「電気」の削減活動も、長く続けていると行き詰まりを感じる部分が出てきてしまいます。これからは、環境活動を業務とどう関連づけていくのが鍵になると思います。環境活動を通じた改善が、業務にも反映され、やがて従業員の働き方の改革・改善につながっていけば、環境活動の継続性も高まるのではないのでしょうか。自社にとどまらず社会貢献、地域貢献へシフトしていくのも、ひとつの方法だと考えています。環境活動を継続していけるような業務環境・組織を整えて、これからもエコアクション21の活動の輪を維持していきたいですね。



本社総務部のお二人
各地区本部と協力してエコアクション21の全社統合に尽力

サッポロビール株式会社

〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿 4-20-1 (本社)

〒060-8606 札幌市中央区北一条東 4-8-1 (北海道本部)

代表取締役社長 尾賀 真城

【設立】平成15年7月1日 【資本金】100億円

【事業内容】ビール・発泡酒・その他の酒類の製造・販売、ワイン・洋酒の販売、他

【EA21 認証・登録番号】0008409 (最新の環境活動レポートは

<http://www.ea21.jp/list/pdf/0008409.pdf> をご覧ください)